



(写真は3月開催「男女共同参画講演会(講師：広岡立美さん)」より)

第3次平川市男女共同参画推進プラン 『ひらかわきらめきプラン』を策定しました。

平川市では、男女の人権が尊重され、性別にかかわらず個性や能力を十分に発揮できる「男女共同参画社会」の実現を目指して、これまで「平川市男女共同参画推進プラン(H19～H23)」や「第2次平川市男女共同参画推進プラン(H24～H28)」を策定し、様々な取り組みを行ってきました。

平成28年度末で「第2次平川市男女共同参画推進プラン」の計画期間が終了しましたので、平成29年3月に、国の計画や法律、県のプランを踏まえつつ、平川市の男女共同参画社会の実現を図るため、今後の取り組みを示した「第3次平川市男女共同参画推進プラン」を策定しました。

今回の「きあらひらかわ」でプランの概要をお知らせしますので、ご覧ください。

プランの策定にあたり、貴重なご意見やご提案をいただいた平川市男女共同参画推進会議委員の皆さんをはじめ、ご協力くださいました皆さんに感謝いたします。

「きあら(chiara)」はイタリア語で「光り輝くもの」「よろこびをもたらすもの」を意味します。平川市男女共同参画推進プランの基本理念である「互いに認め、支えあう、男女(ひと)がきらめく平川市」のとおり、輝く未来を見つめながら性別にかかわらず一人ひとりがお互いを認め、自分らしさを十分に生かせる平川市をめざしたいという願いを込めています。

第3次平川市男女共同参画推進プラン

ひらかわきらめきプラン

みんなが支えあうまちを
めざすために計画を作りました。
概要をご紹介します。
みなさん見てください。



平川市観光キャラクター「ヤーヤくん」

基本理念・基本目標

基本理念

ひと

「互いに認め、支えあう、男女がきらめく平川市」

平川市ではこの基本理念のもと、男女共同参画社会の実現に向けて、男性と女性が互いに尊重し、性別に関係なく自分らしさを十分に生かしながら、一人ひとりが生活面、精神的、経済的に自立するため、男性と女性が対等のパートナーであるまちをめざします。

基本目標Ⅰ 男女(ひと)が活躍できるまちづくり

元気で豊かな地域社会であるためには、男女ともにいろいろな能力を活かし、様々な視点や新しい発想を取り入れる必要があります。そのため、政策・方針決定の場への女性の参画拡大を働きかけます。

男女が家事、育児、介護などの家庭生活で役割を果たしながら、仕事や地域社会で活動できるように、子育てや介護を社会全体で支援できる体制づくりを進め、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、男女それぞれが働きやすい環境づくりに取り組みます。

基本目標Ⅱ 男女(ひと)が安心して暮らせるまちづくり

町会や地域団体などでの活動に積極的に参加することを促進し、また、災害時に備えるため、男女がそれぞれの個性と能力を発揮できる環境づくりを推進します。

女性も男性も生涯にわたって健康で充実した生活をおくれる環境づくりに取り組みます。

基本目標Ⅲ 男女(ひと)が互いに支えあえるまちづくり

市民の意識の中に長い時間をかけて形づくられた固定的役割分担意識を解消するために、地域、家庭、職場、学校などのいろんな分野において、男女共同参画の必要性や意義について広報・啓発を推進し、理解を深めます。

計画の性格・期間

このプランは、「男女共同参画社会基本法」及び「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)」に基づき、国の「第4次男女共同参画基本計画」などいろいろな計画と整合を図りながら、市の特徴や現状を踏まえて策定しています。

このプランは、平成29年度から平成33年度までの5年間の計画です。
ただし、社会状況などに応じて必要な見直しを行っていきます。

主な取り組み(プランの体系図)

基本目標Ⅰ

男女(ひと)が活躍 できるまちづくり

1 政策・方針決定の場
への女性の参画拡大

◆審議会等への女性登用拡大
の啓発、日本女性会議等への
派遣 など

2 仕事と生活の調和
(ワーク・ライフ・
バランス)の推進

◆イクボス宣言企業支援、父子
手帳製作、子ども医療費助成、
第2子以降保育料無料化 など

3 雇用・就労の場
における男女共同参画
の推進

◆男女雇用機会均等法の普及
啓発、就業情報の提供 など

4 農林業及び商工業等
における男女共同参画の
推進

◆女性の経済的地位と能力
の向上、家族経営協定の推進
など

基本目標Ⅱ

男女(ひと)が安心して 暮らせるまちづくり

5 地域生活における
男女共同参画の推進

◆男女が共同で取り組む地域
活動の推進、地域社会への
参画のための学習環境の
充実(平成の寺子屋) など

6 女性、高齢者及び児童
に対する暴力の根絶

◆DV被害者支援、虐待防止
ネットワーク、高齢者への
総合相談業務 など

7 生涯にわたる
健康づくりの推進

◆子どもからお年寄りまでの
健康づくり、女性のライフ
ステージに応じた健康支援
など

基本目標Ⅲ

男女(ひと)が互いに 支えあえるまちづくり

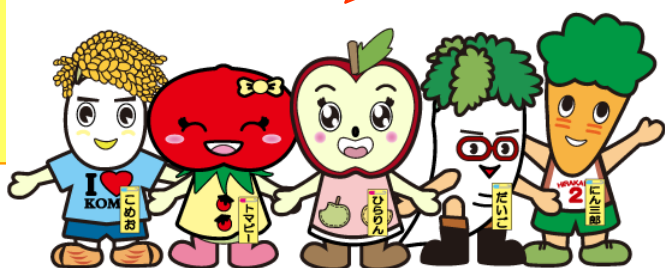
8 男女共同参画の
広報・啓発の推進

◆情報誌「きあらひらかわ」の
発行、男女共同参画講演会
の開催 など

9 教育等を通じた意識
改革、理解の促進

◆男女共同参画について理解
を深めるための教育・学習の
充実、人権を尊重する教育・
学習の推進 など

みんなが活躍できて、
安心して暮らせて、
お互いに支えあっていける
まちをつくっていきましょう。



平川市食育推進キャラクター「ひらかわ元気ファミリー」

計画の推進

1. 推進体制の整備

計画を推進するため、市民の代表で構成する「平川市男女共同参画推進会議」を中心に、関係部局、市民、事業所、団体等と連携しながら、取り組む体制の整備を進めます。

2. 関係機関・団体との連携強化

男女共同参画を推進するため、国、県、男女共同参画ネットワーク・津軽広域、近隣市町村担当者等との連携を図りながら、計画を推進します。

3. 男女共同参画に関するデータの収集と整備

男女共同参画の現状や課題を把握するために、プランに掲げた目標値に関するデータの収集、整備に努めます。

私たち『日本女性会議2016秋田』に参加してきました！

平成28年10月に秋田県秋田市で「日本女性会議」が開催され、平川市からは私たち工藤華代と吉田房子が参加しました。会議の概要と参加した感想をご紹介します。



詳細は日本女性会議2016秋田ホームページをご覧ください。
<http://jwc2016.akita.jp/>

工藤 華代(新屋)

元気な小学生の竿燈演技で始まった日本女性会議秋田大会。見事なバランスで手・肩・腰に竿燈を乗せ両腕をパッと広げると会場全体に拍手が響き、それが更に参加者の意識を高揚させて大会がスタートしました。

基調報告、記念講演、分科会、シンポジウムと盛沢山の内容で、全てが刺激となり充実した二日間で、特に「地域の魅力を発見、発信」をテーマとした分科会が心に残りました。

秋田は高齢化率、人口減少率が全国で最も進行しており、青森県も同じ課題を抱えているのは言うまでもありません。

そんな中で、全ての人々が自分らしく生き、暮らすことのできる街づくりのため日々活動している20代から30代のパネリストたちの事例発表は、どれも生き生きとして楽しく、「老若男女問わず、自分の能力を発揮できる地域を創っていく。」というパワーが溢れていました。

お互いを理解し合い、多様性を認めることが地域おこしの核になることを学ばせてもらいました。

今回の秋田大会は、自分はこれから何が出来るかを考える良いきっかけとなり、有意義な時間を過ごすことが出来ました。

ありがとうございます。そして、もっと多くの方、いろいろな立場の方がこの大会に参加されることを望みます。

【主なプログラム】

10月28日(金)

◎基調報告「男女共同参画施策の現状と今後の課題」

武川恵子さん(内閣府男女共同参画局長)

◎記念講演「違いこそ個性を作る、自信を作る、魅力を作る」

藤原美智子さん(ヘア・メイクアップアーティスト)

10月29日(土)

◎分科会「地域づくり～地域の魅力を発見、発信～」

藤田ゆうみんさん(ラジオパーソナリティ、歌手)

丑田香澄さん(秋田県五城目町地域おこし協力隊)

栗山奈津子さん(㈱あきた森の宅配便 代表取締役社長)

佐藤恒平さん(地域振興サポート会社 まよひが企画 代表)

武田昌大さん(㈱kedama 代表取締役社長)

◎シンポジウム

秋田発「ケアリング(気遣いあう)」社会を目指して

～生活の場から「多様性」を考えよう～

中村順子さん(日本女性会議2016秋田実行委員会委員長)

秋山正子さん(㈱ケアーズ白十字訪問看護ステーション統括所長)

菊池まゆみさん(秋田県藤里町社会福祉協議会会長)

安藤大輔さん(㈱安藤酒造 代表取締役社長)



左から、吉田、中村順子さん、秋山正子さん、工藤

吉田 房子(沖館)

秋田らしさの中に多様性(ダイバーシティ)をととても感じられる機会でした。

「人それぞれの考え、思いを尊重し受け止め、性別や年齢、職業、国籍、障がいなどをこえて、多様性を受け入れることから始まる、すべての人が自分らしく暮らせる成熟したまちづくり、地域づくりを目指す。」という大会宣言を心に刻み、自分自身のこれからの生きるステージを広げて行きたいと思えます。

女性に限らず多くの方々に日本女性会議を知っていただき、参加されるように願います。素晴らしい体験をさせていただき、ありがとうございました。

「日本女性会議」に参加されたお二人に記事を作っていただきました。日本女性会議に参加したことで、今後も輝きながらお仕事などで活躍していただきたいと思います。

平川市では奥入瀬サミットや日本女性会議へ参加される市民の方へ費用を助成しています。ご興味のある方は、下記事務局までお問い合わせください。

★ 次回開催地は北海道苫小牧市です ★

日本女性会議2017とまこまいホームページ <http://www.jwc2017tomakomai.jp/>

【発行元】平川市教育委員会生涯学習課(平川市男女共同参画推進会議 事務局)

〒036-0102 平川市光城2丁目30-1(平川市文化センター) TEL:0172-44-1221 E-mail: shougaigakushuu@city.hirakawa.lg.jp